

1. 評価指標（KPI）の算出方法

基本方針① 生活拠点を結ぶ交通ネットワークの確保

評価指標 1 公共交通を利用して地区内または最寄りのスーパー・病院へ行って帰れる地区数					
現況値 (R8)	買物	38 地区 / 43 地区	目標値 (R13)	買物	現状の地区数以上 (向上)
	通院	38 地区 / 43 地区		通院	
	両方	38 地区 / 43 地区		両方	
使用するデータ	➤ 公共交通サービス状況（毎年 10 月時点の鉄道・路線バス・コミュニティバスの運行ダイヤ）を使用します。				
算出方法	➤ 公共交通（鉄道・路線バス・コミュニティバス）を利用して地区内または最寄りの買物先・通院先へ行って帰ることが可能な地区数を算出します。算出結果の詳細は、次頁に掲載しています。				
	《具体的な算出条件》				
	➤ 行って帰れる地区の判断				
	・ 各地区のバス停から買物先・通院先まで 9～10 時台に到着し、買物先・通院先から 11～12 時台に出発（帰宅）できる場合、行って帰ることが可能な地区と判断します。				
	・ バスから鉄道への乗換等により所要時間が大きくなる場合は、行って帰ることができないと判断します。				
	・ 設定した買物先・通院先（将来生活交通圏域内の施設）に行き帰ることができないが、圏域外の買物先・通院先であれば可能な場合は、行って帰ることが可能な地区と判断します。				
	➤ バス停の設定				
	・ 地区ごと（大字をベースとした区分）に居住地の中心地となるバス停を設定します。				
	➤ 買物先・通院先の設定				
	・ 生駒市都市計画マスタープランで定義されている将来生活交通圏域内に立地する施設を設定します（圏域内に買物先・通院先がない場合は、近くに立地する圏域外の施設を設定します）。				
➤ 鉄道とバスの乗継					
・ 買物は乗換なし（バスのみで移動）、通院はバスから鉄道への乗換を 1 回のみあり（乗換時間は 30 分以内）に設定します。					
➤ その他の設定					
・ 中菜畑、壱分町、東山町は、地区内にバス停が無いが鉄道駅があるため、各鉄道駅（菜畑駅、一分駅、東山駅）を出発地として設定します。					
・ 乙田地区は、令和 8 年 9 月時点で人口が 0 人であるため、指標対象外とします。					

表 1-1 地区別の買物先・通院先へ行って帰れる状況の確認結果

圏域 番号	将来生活 交通圏域 名	地区名	設定バス停名	買物 行って帰る			買物先	備考	通院 行って帰る			通院先	備考
					行き	帰り				行き	帰り		
1	学研奈良 登美ヶ丘	鹿畑町・美鹿の台	国道鹿畑	○	○	○	イオンモール 奈良登美ヶ丘 店		○	○	○	白庭病院	圏域外
		鹿ノ台	鹿ノ台東二丁目	○	○	○	イオンモール 奈良登美ヶ丘 店		○	○	○	白庭病院	圏域外
2	学研北生 駒	高山町	大北	○	○	○	オークワ生駒 上町店		○	○	○	白庭病院	圏域外
		上町	真弓橋	○	○	○	オークワ生駒 上町店		○	○	○	白庭病院	圏域外
		北大和	地区センター	○	○	○	オークワ生駒 上町店		○	○	○	白庭病院	圏域外
		真弓	真弓二丁目	○	○	○	オークワ生駒 上町店		○	○	○	白庭病院	圏域外
		真弓南	真弓四丁目	○	○	○	オークワ生駒 上町店		○	○	○	白庭病院	圏域外
3	白庭台	ひかりが丘	ひかりが丘	○	○	○	近商ストア白 庭台店		○	○	○	白庭病院	
		あすか野	あすか野センター	○	○	○	近商ストア白 庭台店		○	○	○	白庭病院	
		白庭台	けやき通り北	○	○	○	近商ストア白 庭台店		○	○	○	白庭病院	
		北田原町	北田原口	○	×	×	近商ストア白 庭台店	圏域内	○	×	×	白庭病院	圏域内
		西白庭台	西白庭台一丁目	○	○	○	近鉄百貨店生 駒店	圏域外	○	○	○	阪奈中央病院	圏域外
4	東生駒 (北)	小明町	小明寺垣内	○	○	○	いそかわ新生 駒店		○	○	○	東生駒病院	
		辻町	生駒辻町	○	○	○	いそかわ新生 駒店		○	○	○	東生駒病院	
5	東生駒 (南)	山崎町	-	-	-	-	-	バス停なし	-	-	-	-	バス停なし
		東生駒	東生駒二丁目	○	○	○	ハーベス東生 駒店		○	○	○	生駒市立病院	
		さつき台	さつき台住宅	○	○	○	ハーベス東生 駒店		○	○	○	生駒市立病院	
6	生駒駅 (北)	生駒台	生駒台	○	○	○	近鉄百貨店生 駒店		○	○	○	阪奈中央病院	
		新生駒台	新生駒台	○	○	○	近鉄百貨店生 駒店		○	○	○	阪奈中央病院	
		松美台	松美台	○	○	○	近鉄百貨店生 駒店		○	○	○	阪奈中央病院	
		南田原町	お松の宮	○	○	○	近鉄百貨店生 駒店		○	○	○	阪奈中央病院	
		喜里が丘	喜里が丘南口	○	○	○	近鉄百貨店生 駒店		○	○	○	阪奈中央病院	
		光陽台	光陽台中央公園	○	○	○	近鉄百貨店生 駒店		○	×	×	阪奈中央病院	圏域内
		俵口町	俵口阪奈中央病院	○	○	○	近鉄百貨店生 駒店		○	○	○	倉病院	圏域外
		東松ヶ丘・西松ヶ 丘 5	西松ヶ丘 5 番	○	○	○	近鉄百貨店生 駒店		○	×	×	阪奈中央病院	圏域内
		桜ヶ丘	桜ヶ丘自治会館	○	○	○	近鉄百貨店生 駒店		○	○	○	倉病院	圏域外
		谷田町	谷田町	○	○	○	近鉄百貨店生 駒店		○	○	○	阪奈中央病院	
		北新町	北原川	○	○	○	近鉄百貨店生 駒店		○	×	×	阪奈中央病院	圏域内
7	生駒駅 (南)	東旭ヶ丘・西旭ヶ 丘・軽井沢町	湯船	○	○	○	生駒駅前商店 街		○	○	○	倉病院	圏域外
		新旭ヶ丘・緑ヶ丘	緑ヶ丘	○	○	○	生駒駅前商店 街		○	○	○	倉病院	
		本町周辺	市民体育館	○	○	○	生駒駅前商店 街		○	○	○	倉病院	
		元町周辺	セイセイビル	○	○	○	生駒駅前商店 街		○	○	○	倉病院	
		菜畑	-	-	-	-	-	バス停なし	-	-	-	-	バス停なし
8	菜畑・一 分	中菜畑	菜畑駅	○	○	○	万代菜畑店	鉄道利用	○	○	○	倉病院	圏域外、鉄道利 用
		西菜畑	-	-	-	-	-	バス停なし	-	-	-	-	バス停なし
		東菜畑	-	-	-	-	-	バス停なし	-	-	-	-	バス停なし
		壱分町	一分駅	○	○	○	万代菜畑店		○	○	○	倉病院	圏域外、鉄道利 用
9	南生駒駅	南	青山台第 3 公園	○	○	○	業務スーパー 南生駒店		○	○	○	木下クリニッ ク	
		有里町	竹林寺下 (有里町 自治会館)	×	○	×	業務スーパー 南生駒店		×	○	×	木下クリニッ ク	
		小瀬・南山手台	南生駒駅	○	○	○	業務スーパー 南生駒店		○	○	○	木下クリニッ ク	
		小平尾町	業務スーパー南生 駒店	○	○	○	業務スーパー 南生駒店		○	○	○	木下クリニッ ク	
10	萩の台・ 東山	乙田町	-	-	-	-	-	人口 0 人	-	-	-	-	人口 0 人
		萩の台・萩の台住 宅	萩の台住宅自治会 館	○	○	○	業務スーパー 南生駒店	圏域外	○	×	×	近畿大学奈良 病院	圏域内
		東山町	東山駅	○	○	○	業務スーパー 南生駒店	圏域外	○	○	○	木下クリニッ ク	圏域外

※「○」：算出条件下において買物先・通院先に行って帰ることができる

※「×

※「-」：地区内にバス停がない場合、人口が0人の場合

2

基本方針② 市内の公共交通が相互に補完し合う交通体系の構築

評価指標 2 市内高齢者の外出率			
現況値 (R7)	94.0%	目標値 (R13)	現状の外出率以上（向上）
使用する データ	➤ 生駒市福祉部地域包括ケア推進課で実施しているアンケート調査結果（基本チェックリスト）を使用します。 ➤ アンケート調査対象者は、毎年 4 月 1 日時点で 75 歳以上の高齢者です（要支援・要介護認定を受けている方を除く）。		
算出方法	➤ 週 1 回以上の外出有無を尋ねる設問において「はい（週 1 回以上は外出する）」と回答した方の割合を、算出します。 《算出式》 市内高齢者の外出率 = 週 1 回以上は外出すると回答した人数 ÷ 回答者総数		

評価指標 3 コミュニティバスへの利用者 1 人あたりの公的資金投入額			
現況値 (R7)	243 円/年・人	目標値 (R13)	243 円/年・人（維持）
使用する データ	➤ コミュニティバス 7 路線（現況値は、R7 年度時点で実証運行中の桜ヶ丘線を除いた 6 路線）の実績を使用します。		
算出方法	➤ コミュニティバス全路線の公的資金投入額を、利用者総数で除して算出します。 ➤ コミュニティバス全路線の公的資金投入額は、運行費用（初期費用、ダイヤ改正や運賃改正に係る費用等を除く）と収入合計（運賃収入＋広告収入＋サポーター制度協賛金＋国庫補助金）の差分から算出します。 《算出式》 利用者 1 人あたりの公的資金投入額 = (運行費用－収入合計) ÷ 利用者総数		

評価指標 4 コミュニティバスの収支率					
現況値 (R7)	光陽台線	64.1%	目標値 (R13)	光陽台線	30%以上
	門前線	64.2%		門前線	
	西畑・有里線	40.2%		西畑・有里線	
	北新町線	39.0%		北新町線	
	萩の台線	20.5%		萩の台線	
	鹿ノ台線	32.7%		鹿ノ台線	
	桜ヶ丘線	※R7 年度は実証 運行中のため 現況値なし		桜ヶ丘線	
	(参考)全路線	46.6%		(参考)全路線	
使用する データ	➤ コミュニティバス 7 路線（現況値は、R7 年度時点で実証運行中の桜ヶ丘線を除いた 6 路線）の実績を使用します。				
算出方法	➤ コミュニティバスの各路線の運行費用（初期費用、ダイヤ改正や運賃改正に係る費用等を除く）を、収入合計（運賃収入＋広告収入＋サポーター制度協賛金＋国庫補助金）で除して算出します。				
《算出式》 収支率＝運行費用÷収入合計					

基本方針③ 公共交通の利用促進と担い手確保の推進

評価指標 5 人口あたりの公共交通の年間利用回数			
現況値 (R6)	219 回/人 【定期利用率：56.6%】 参考 定期券の年間利用回数：124 回/人	目標値 (R13)	現状の利用回数以上（向上） 【現状の定期利用率以上（向上）】
使用する データ	➤ 年間利用回数の算出において、各交通事業者（鉄道、路線バス、コミュニティバス）の実績及び住民基本台帳人口を使用します。 ➤ 定期券の利用率及び年間利用回数の算出において、鉄道統計年報及び交通事業者の実績を使用します。		
算出方法	人口あたりの公共交通の年間利用回数 ➤ 市内公共交通（鉄道、路線バス、コミュニティバス）の年間利用回数を、生駒市人口（毎年 10 月 1 日時点の人口総数）で除して算出します。 《算出式》 人口あたりの年間利用回数 ＝鉄道・路線バス・コミュニティバスの年間利用回数 ÷ 生駒市人口総数 定期利用率 ➤ 定期券の年間利用回数（鉄道、路線バス）を、市内公共交通（鉄道、路線バス、コミュニティバス）の年間利用回数で除して算出します。なお、コミュニティバスは、R8 年時点で定期券を導入していません。 ➤ 鉄道における定期券の年間利用回数は、市内鉄道駅の年間利用回数に定期利用率（「鉄道統計年報」における近畿日本鉄道の大阪・京都・奈良線の定期利用構成比）を乗じて算出します。 ➤ 路線バスにおける定期券の年間利用回数は、市内路線バスの年間利用回数に定期利用率（交通事業者の実績データにおける市内路線バスの輸送人員のうち定期利用が占める割合）を乗じて算出します。 《算出式》 定期利用率 ＝鉄道・路線バスの定期券の年間利用回数 ÷ 鉄道・路線バス・コミュニティバスの年間利用回数		

評価指標 6 非自動車分担率			
現況値 (R3)	55.1%	目標値 (R13)	現状の非自動車分担率以上（向上）
使用する データ	➤ 各年度の評価には、生駒市が毎年実施している市民実感度調査結果（利用交通手段に関する設問を新たに追加予定）を使用します。 ➤ 現況値の算出には、R3 年近畿圏パーソントリップ調査結果を使用しました。		
算出方法	➤ 普段の利用移動手段を尋ねる設問において自動車（送迎を含む）以外を回答した方の割合を算出します。 ※市民実感度調査における設問及び選択肢の内容は、調整中のため、変更する可能性があります。 《算出式》 非自動車分担率 ＝普段の利用移動手段を自動車以外と回答した人数÷回答者総数 ➤ 現況値は、R3 年近畿圏パーソントリップ調査における生駒市を発着する発生集中量のうち、自動車以外の発生集中量の割合を算出しました。		

評価指標 7 公共交通の運転者数の充足率			
現況値 (R8)	65.3%	目標値 (R13)	現状の充足率以上（向上）
使用する データ	➤ 市内に営業所を設置しているタクシー事業者（飛鳥タクシー、生駒交通、奈良近鉄タクシー）の実績を使用します。		
算出方法	➤ 保有するタクシー車両を稼働する上で望ましい運転者数のうち、現在の運転者数が占める割合を算出します。 《算出式》 公共交通の運転者数の充足率 ＝現在のタクシー運転者数 ÷保有するタクシー車両を稼働する上で望ましい運転者数		

基本方針④ みんなで公共交通に乗って支える意識の醸成

評価指標 8 人口あたりの路線バスの年間利用回数			
現況値 (R7)	67 回/年・人	目標値 (R13)	71 回/年・人（向上） ※年間利用回数を 1 人あたり 4 回増加
使用する データ	➤ 交通事業者の実績及び住民基本台帳人口を使用します。		
算出方法	➤ 市内路線バスの年間利用回数を、生駒市人口（毎年 10 月 1 日時点の人口総数）で除して算出します。 《算出式》 人口あたりの路線バスの年間利用回数 ＝路線バスの年間利用回数÷生駒市人口総数 ➤ 目標値は、現況値に、市内路線バスの赤字解消に必要な 1 人あたりの年間利用回数（4 回/年・人）を加えた数値を設定しています。 ※市内路線バスの R6 年度赤字額を、生駒市人口（R7 年 10 月 1 日時点の人口総数）と運賃（「生駒駅北口」から「新生駒台北口」の片道）で除して算出しました。		